



komax

LAMBDA 240 ST

シールドテーピングマシン

シールド固定具の半自動テーピング装置

機能

Lambda 240 ST は、電気自動車に用いられる高圧ケーブルの編組シールドを固定・安定させるコンパクトな半自動ソリューションです。システムは、Hirschmann PowerStar 40-2 コネクターシステムの要件に準拠しており、全体的なソリューションの一部です。

Lambda 240 SP で準備した、トリムカットされ、折り返しバックシールドされたケーブルを Lambda 240 ST に配置、位置決めします。

マシンは、ケーブルの正しい位置を検証し、処理を自動的に実行します。グラバーでケーブルをテープ処理位置に移動します。最終地点に到達したら、スポットテープを全自動で貼り付けます。

テープロール用に統合されたブレーキでテープ張力を調節します。希望する回数テープが巻かれると、テープは切断され、テープの端が処理されます。編組シールドを固定し、後述の処理で保護されます。

技術データ

直径の範囲	9.3 ~ 12.8 mm
推奨テープ	5 mm Coroplast 838X
巻き数	1.5 巻
サイクルタイム	10 秒未満
切り替え時間	5 分未満

メリット

- ケーブルの編組シールドを固定するコンパクトなソリューション
- サーボ制御による正確な処理と位置決め
- 使いやすい管理設定レシピによる素早い製品交換
- ユーザーフレンドリーなタッチスクリーンによる、テープの位置決めとパラメータの設定
- Hirschmann PowerStar 40-2 コネクターアセンブリ要件に準拠